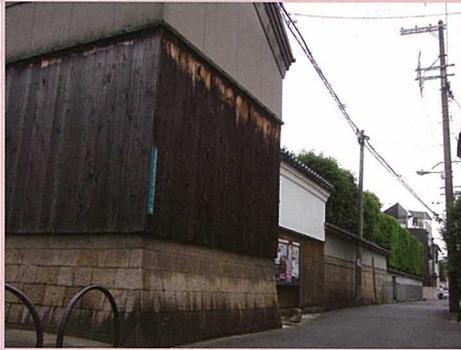


8. 深江の建築物、史跡群



◆所在地 東成区深江南3丁目5番～22番

◆登録番号 H23-23

◆概要

昔、良質の菅の生い繁った深江の地に、菅を縫うことを職業とした大和の一族が集団移住したことが始まりと伝えられている。菅笠・菅細工などの伝統文化が現在も継承され、伊勢神宮式年遷宮に使用する菅笠を納めている。深江集落には、かさぬいむらあと 笠縫呂跡として史跡に指定されている深江稲荷神社、法明寺などがあり、茅葺屋根形状の家屋、蔵、地蔵堂も多く見ることができる。

9. 矢田地蔵尊



◆所在地 東成区東小橋1丁目4番2号

◆登録番号 H23-24

◆概要

玉造駅から東に入った暗越奈良街道沿いにある。峠越えをして奈良へ行くときに、ここで願掛けをしたといわれている。奈良の矢田寺に縁のある地蔵で、地蔵堂の中央に安置された石の地蔵尊には、矢田寺への道しるべが彫られている。

東成区の都市景観資源(分布図)



- ① 北中道の古い街並み
- ② 旧三井釦被服
- ③ 真言宗御室派密華山妙法寺
- ④ 玉津の昭和初期の街並み
- ⑤ 八王子神社御旅所の楠
- ⑥ 東小橋の街並み
- ⑦ 火袋式道標
- ⑧ 深江の建築物、史跡群
- ⑨ 矢田地蔵尊